

2021年度（令和3年度）事業計画

（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

1. はじめに

1. 2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、落ち込んだ景気を回復する年になることを期待している。
2. 政府の「経済財政運営と改革の基本方針2020」では、ポストコロナ時代の新しい未来として、「新たな日常」を通じた「質」の高い経済社会の実現の方向性が明記されている。「新たな日常」構築の原動力となるデジタル化の推進や、頻発する災害に対する耐災害性強化等が書かれており、我が国が目指すべき未来社会の姿とされている。当工業会も「新たな日常」構築において、インフラ部分で貢献したい。
3. 政府経済見通し（2月閣議）は「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。」と現状を認識し、先行きについて「感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。」としており、景気の回復の期待を明記されている反面、「金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある」ことなど懸念も指摘している。
4. 当工業会の2020年度の工業会出荷金額は、年間で939.6億円（対前年比96.4%）でした。2021年度は、「新たな日常」と政府のデジタル化推進による設備投資や、働き方改革での在宅勤務やWEB会議の増加による需要増を期待するところである。こうした中、当工業会の扱い品目である感震機能付などの高機能住宅用分電盤、電気自動車充電設備、災害を未然に防ぐ製品群の伸びを期待したい。
なお、2021年度の出荷金額は、対前年比で点滅器102.0%、接続器101.0%、住宅用分電盤101.5%、その他を含む合計で100.8%、絶対額で947.0億円と推定している。

2021年度（2021年4月～2022年3月）出荷金額予測

（2021年5月時点予測）

	上期 (%)	下期 (%)	年度 (%)
点滅器	100.1	103.7	102.0
接続器	99.5	102.4	101.0
開閉器	90.7	74.1	82.1
住宅用分電盤	105.4	97.9	101.5
EV盤	81.0	102.8	93.3
信号・情報機器	92.8	82.0	87.1
総額	100.6	101.0	100.8

5. 本年度は、役員改選の年度であり、第6次中期計画の開始年度でもある。事務局体制も一新されることもあり、全てを根底から見直して新たなニューノーマル（新常态）時代の工業会を再構築する。

2. 最重点課題

第6次中期計画5大活動テーマの推進

- 1) 配線システムからの火災事故を撲滅する「安全品質の追及活動」
- 2) 交換リニューアル市場を構築する「安全・点検リニューアル活動」
- 3) 低炭素社会を配線システムで実現する「環境対応推進活動」
- 4) 新しい配線システムの標準化で安心を造りだす「標準化推進活動」
- 5) 新しい分野の市場を開拓する「新規分野開拓活動」

3. 重点項目 (定款順)

1. 配線システム及び配線器具に関する生産、流通等の調査及び研究
 - ・出荷統計調査(接地極付きコンセント含む)、需要動向・流通動向の早期集計
2. 配線システム及び配線器具に関する技術の調査及び研究
 - ・技術動向、技術課題等に関する調査及び研究
3. 配線システム及び配線器具に関する情報の収集及び提供
 - ・市場動向、環境問題等に関する情報収集及び提供
4. 配線システム及び配線器具に関する普及及び啓発
 - ・日配工の提案する製品の普及と安全点検など使用者への啓発
5. 配線システム及び配線器具に関する規格の立案及び推進
 - ・各種規格作成委員会活動の推進と取り纏め
6. 配線システム及び配線器具に関する内外関係機関等との交流及び協力
 - ・国内関係機関及び海外関係機関との協調体制構築
7. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

4. 具体的実施事項

第6次中期計画5大テーマの具体的実施事項

- 1) 「安全品質の追及活動」の推進
 - ①電気火災を未然に防ぐ、配線器具、住宅用分電盤の紹介、推奨活動。
 - ・電気火災事故を未然に防ぐ、配線器具、住宅用分電盤が各会員会社で様々な製品開発されているが、十分には周知されておらず、工業会として広く、周知し電気火災事故減少に努める。
 - ②内線規程改正・電技解釈改正の支援
 - ・電気自動車(EV)の高容量(6KW)充電器を普及するための新たな配線方式や接地極付きコンセント普及など、26件の日配工提案を行っている。これらの審議委員会へ参画し、2022年8月発刊予定の内線規程への採用や電技解釈改正を支援する。
 - ③ユーザへの誤使用防止啓発活動の推進
 - ・電気火災を未然に防ぐため、正しい使用方法を日配工ホームページ等で周知する。

2) 「安全・点検リニューアル活動」の推進

①安全点検PR活動の推進

- ・「配線器具の日」行事（2021年11月11日）首都圏、名古屋、大阪の3地区でコロナ禍の状況を判断して実施する。

②「交換の目安」の訴求

- ・住宅用分電盤、配線器具の取替え交換需要を掘り起こすため、「スイッチ・コンセントは10年」「住宅用分電盤は13年」「テーブルタップは3～5年」のパンフなどにて訴求する。

③ 感震機能付き住宅用分電盤の普及

- ・地震発生時に、照明回路とコンセント回路を同時に遮断しない総合形の感震機能付き住宅用分電盤の検討を行う。

④仮称「ICT/IoT時代に対応した住宅電路の設計・施工ガイドライン」の作成

- ・スマートホンなど増加する充電を要する情報機器に対し、情報機器分岐回路や適切なコンセントの数を内線規程に織り込むための理論武装とともに、あるべき配線システムの姿を検討する。

⑤家電PLセンター情報交換会

- ・配線器具、住宅用分電盤の事故情報の共有化を行う。

3) 「環境対応推進活動」の推進

- ①電気自動車充電インフラに関し、経済産業省・国土交通省と連携し普及を図る。

- ②環境関連情報の発信を実施する。

- ③技術講習会の実施

- ・会員会社にとって、時代にあった関心の高いテーマの技術講習会を企画し、実施する。

- ④施設見学会の実施

- ・会員会社にとって関心の高い見学会先を選定し、コロナ禍の状況を判断して実施する。

4) 「標準化推進活動」の推進

① JIS 改正原案作成の準備

- ・ **JIS C 8281-2-1** 「家庭用及びこれに類する用途の固定電気設備用スイッチー第2-1部：電子スイッチの個別要求事項」の改正に備えての事前準備

- ・ **JIS C 8201-3** 「低圧開閉装置及び制御装置ー第3部：開閉器，断路器，断路用開閉器及びヒューズ組みユニット」の改正に備えての事前準備

② IEC 国際会議への委員派遣

- ・ IEC SC23B の作業会 (MT4) へ参画

2021年 4月14～16日 WEB会議で参加する。

2021年10月20～22日 英国 ロンドン会議へ2名の委員を派遣する。

③ 日配工規格・技術資料の改正

- ・ 日配工規格 **JWDS0007** 「住宅用分電盤」シリーズの見直し
- ・ 住宅用分電盤認定制度規定・基準集を見直す。
- ・ 技術資料 **JWD-T12** 「一体成形差込プラグ指針」を見直す。

④ 電気用品安全法 技術基準解釈別表第十の規定値見直し

- ・「雑音の強さ」の要求値が、日本古来の解釈別表第十の規準値から CISPRJ の規準値に見直される動きがあり、高調波の規制とともに調光器などへの影響が大きく対応策を検討する。

5) 「新規分野開拓活動」の推進

- ・顧客に、新たな満足を与えることができる分野を開拓する。

5. その他

- ・住宅用分電盤認定審査委員会 (2回/年)
- ・住宅用分電盤認定審査委員会 工場調査の方向性検討
- ・配線器具専門委員会 電源コード技術小委員会の主査選定
- ・日配工会報の発行 (3回/年) (6月、10月、1月)
- ・日配工需要予測の算出 (2回/年) (5月、1月)
- ・施設見学会 (9月)
- ・技術講習会 (2月)
- ・住宅用分電盤専門委員会の三団体 (キャビネット工業会、盤標準化協議会、日配工) 情報交換会 参画
- ・照明3団体事務局連絡会 (照明工、照明学会、日配工) 参画
- ・日配工卓上カレンダー作成、配布

以上